



本日の  
セミナーに  
寄せて

## 機能性食品による予防医学について

やざわ かずなが  
矢澤 一良 様

MaOI機構コーディネーター  
早稲田大学 ナノ・ライフ創新研究機構  
規範科学総合研究所ヘルスフード科学部門(部門長)

### 主研究テーマ

1. 予防医学的・食品・医薬品素材に関する研究
2. 海洋資源の有効利用に関する研究
3. 天然物の生理活性成分の探索と薬理学的研究
4. 微生物の新しい機能の探索に関する研究

### 主な著書(全著書120冊以上)

「マリンビタミン健康法」:現代書林(1999)、「ヘルスフード科学講座」:食品化学新聞社(2007)、「アスタキサンチンの科学」:成山堂(2009)、「マリンビタミンで奇跡の若返り」:PHP研究所(2010)、「機能性おやつ」:扶桑社(2012)など

### 学術活動・社会活動

健康・長寿研究談話会(旧ホスファテジルセリン研究会)(会長)、アスタキサンチン研究会(世話人)、日本アントシアニン研究会(会長)、クルジオイル研究会(会長)、ヒアルロン酸機能性研究会(会長)、ノビチン研究会(会長)、パラミン研究会(会長)、昆布の栄養機能研究会(代表理事)など

特許出願 300件以上



講演  
1

## 今と未来のフレイル対策！ ～スケソウダラの速筋タンパクを食べて筋肉増強～

うちだ けんじ  
内田 健志 様

日本水産株式会社食品機能科学研究所  
機能性素材開発課 副主任研究員

### 講演概要

昨今、健康寿命に対する注目が高まりに並行して、筋肉減少による虚弱状態であるフレイルという概念も認知が高まりつつある。この環境下の中、一般の食品で食べることができるスケソウダラに 筋肉(特に速筋)を増強する効果があることが発見されました。フレイルの予防・改善としては、十分なタンパク質摂取とウェイトトレーニングが重要であることは、既に有名ですが、スケソウダラには、栄養素(たんぱく質の質)と機能性(筋肥大効果)の両方を能力を備えていることが明らかとなり、フレイル予防・対策にとって、有用である可能性が臨床試験等からも示されています。今回の講演では、近年拡大しつつあるたんぱく質ブームについての社会動向も踏まえて、スケソウダラの機能性についてご紹介させていただきます。

### プロフィール

2002年北海道大学大学院農学研究科(応用生命科学専攻)卒業後、製薬メーカーを経て、2015年日本水産株式会社入社。生活機能科学研究所(現食品機能科学研究所)に所属。以降、スケソウダラ等の機能性素材の有用性研究(基礎-臨床)に従事し、2018年からはAPP研究会(Alaska pollock fist protein)の事務局として、機能性普及の広報も兼任している。



講演  
2

## ヒットを生み出す、 食品の機能性マーケティング戦略のつくり方

ふじた やすと  
藤田 康人 様

株式会社インテグレート  
代表取締役CEO

### 講演概要

近年、ヘルスケアを謳った食品の市場は急速に成長をしていますが、商品が増加したことで、今や消費者は新商品に目新しさを感じなくなり始めています。もはや成分量の小さな優位差や、特保や機能性表示食品などの制度の活用のみでは、消費者に振り向いてもらうことは難しい状況です。このような環境では、市場のトレンドや消費者が持つ健康課題をいち早くつかみ、彼らが欲しいと思うストーリーを描くことが重要です。そして、それは商品開発から流通商談、コミュニケーション戦略まで一連の活動が統合的に考えられている必要があります。素材を起点とした商品価値を一過性のブームで終わらせないためにはどうするべきか。最新のトレンドを踏まえたマーケティング戦略設計の方程式についてお話しします。

### プロフィール

慶應義塾大学を卒業後、味の素株式会社に入社。1992年、ザイロフィンファーマーイスト社(現ダニスコジャパン)を、フィンランド人の社長と2人で設立。1997年にキシリトールを日本に初めて導入し、素材メーカーの立場からキシリトール・ブームを仕掛けた。この結果、ガムを中心とするキシリトール製品市場はゼロから2000億円規模へと成長。2007年5月、IMC(Integrated Marketing Communication:統合型マーケティング)プランニングを実践するマーケティングエージェンシー 株式会社インテグレートを設立、代表取締役CEOに就任。著書に『ヒットを育てる!食品の機能性マーケティング』(日経BP)、『カスタマーセントリック思考』『The Real Marketing』(以上、宣伝会議)、『99.9%成功するしかけ』(かんき出版)などがある。

## セミナー当日の流れ

主催者挨拶 >> 本日のセミナーに寄せて >> 講演1 >> 講演2

### マリンオープンイノベーション機構について

名称	一般財団法人 マリンオープンイノベーション機構
所在地	静岡県葵区追手町9番18号 静岡中央ビル8階 ※2020年秋に清水マリンビル内(静岡市清水区日の出町9-25)へ移転予定
役員等	理事長: 松永是(海洋研究開発機構(JAMSTEC)理事長) 研究所長: 五條堀孝(アブドラ国王科学技術大学ディステングイッシュトプロフェッサー(特別荣誉教授)) 理事/統括プロデューサー: 橋本正洋(国立大学法人 東京工業大学 環境・社会理工学院 イノベーション科学系 教授)
活動概要	海について学び、新たな恵みを見出して、多様な産業分野での新たな価値の創出や課題の解決に貢献するための活動に取り組んでまいります。 ○研究開発拠点『MaOI-PARC』(2020年秋開所予定)におけるライブラリーやデータベースの整備、共同研究の支援 ○産学官の情報共有と交流を促進する会員制プラットフォーム『MaOIフォーラム』の運営 等

### お申し込み・お問い合わせ先

当機構のホームページ(下記QRコード)からお申し込みください。なお、郵送・FAXでお申し込みの場合は、受講申込書に必要事項をご記入の上お送りください。E-mailの場合は、受講申込書の項目を記載してお送りください。



〒420-0853 静岡県葵区追手町9番18号 静岡中央ビル8階 一般財団法人マリンオープンイノベーション機構 総務部 宛  
ホームページ: <https://maoi-ijp> Fax: 054-204-1121 E-mail: [seminar1@maoi-ijp](mailto:seminar1@maoi-ijp)  
【お問い合わせ先】恐縮ですが、上記E-mailにお問い合わせください

## MaOI Webフォーラム 受講申込書

会社名・団体名	役職	フリガナ 氏名
所在地	役職	フリガナ 氏名
電話番号		
メールアドレス	役職	フリガナ 氏名